



2023年12月期 第3四半期
決算説明資料

株式会社sMedio

(東証グロース : 3913)

2023年11月14日

本資料の複写、転用はしないで下さい

- 連結業績ハイライト ④
- 連結決算概要(PL) ⑤
- 連結決算概要(BS) ⑥
- 収入形態別連結売上推移 ⑦
- 連結営業利益・連結経常利益推移 ⑧
- 通期連結業績予想の修正について ⑨
- 事業ハイライト ⑪

2023年12月期
第3四半期
決算概要

■ 売上高は、582百万円（前年同期は594百万円）

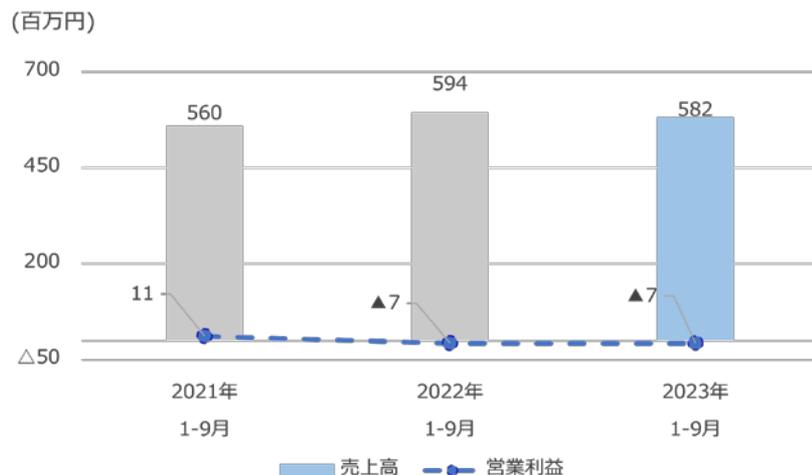
前年同期比で、受託開発収入が11百万円増加した一方で、ロイヤリティ収入が▲8百万円、保守・サポート収入が▲14百万円減少したことによります。

■ 営業利益は、▲7百万円（前年同期は7百万円の赤字）

売上高が減少した一方で、販管費が減少したことにより、当第3四半期の営業利益は▲7百万円となりました(詳細はP5をご参照ください)。

■ 最終利益は、▲153百万円（前年同期は5百万円の黒字）

和解金の支払いの影響により当第3四半期の最終利益は▲153百万円となりました(詳細はP9をご参照ください)。



期初計画からの進捗状況

単位:百万円

	2023年3Q			予算進捗率	
	予算	実績	差異	年間予算	進捗率
	A	B	B-A	C	B/C
売上高	598	582	▲15	845	68.9%
営業利益	▲26	▲7	18	25	n/a
当期純利益	▲28	▲153	▲124	10 ※	n/a

※業績予想を修正し、現在の当期純利益の年間予算は▲140百万円となっております
詳細はP9をご参照ください。

連結決算概要 (PL)

単位：百万円

	2021年 1-9月	2022年 1-9月	2023年 1-9月	前年同期比	
売上高	560	594	582	▲11	▲2.0%
売上原価	241	277	289	12	4.3%
売上総利益	318	316	293	▲23	▲7.5%
販管費	307	324	300	▲24	▲7.4%
営業利益	11	▲7	▲7	0	n/a
営業外収益	3	24	12	▲11	▲47.3%
営業外費用	0	1	—	▲1	▲100.0%
経常利益	15	15	5	▲9	▲65.6%
特別利益	—	—	—	—	n/a
特別損失	—	—	146	146	n/a
税金等調整前四半期純利益	15	15	▲141	▲156	n/a
法人税等	21	9	11	2	23.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲6	5	▲153	▲158	n/a
売上原価率	43.1%	46.7%	49.7%	3.0p	n/a
営業利益率	2.1%	▲1.3%	▲1.3%	0.0p	n/a

- 売上高：前年同期比で、ロイヤリティ収入が▲8百万円、保守・サポート収入が▲14百万円、受託開発収入が+11百万円となりました。
- 営業利益：売上高が減少した一方で、販管費も前年同期比で7.4%減少したことで営業利益は▲7百万円となりました。

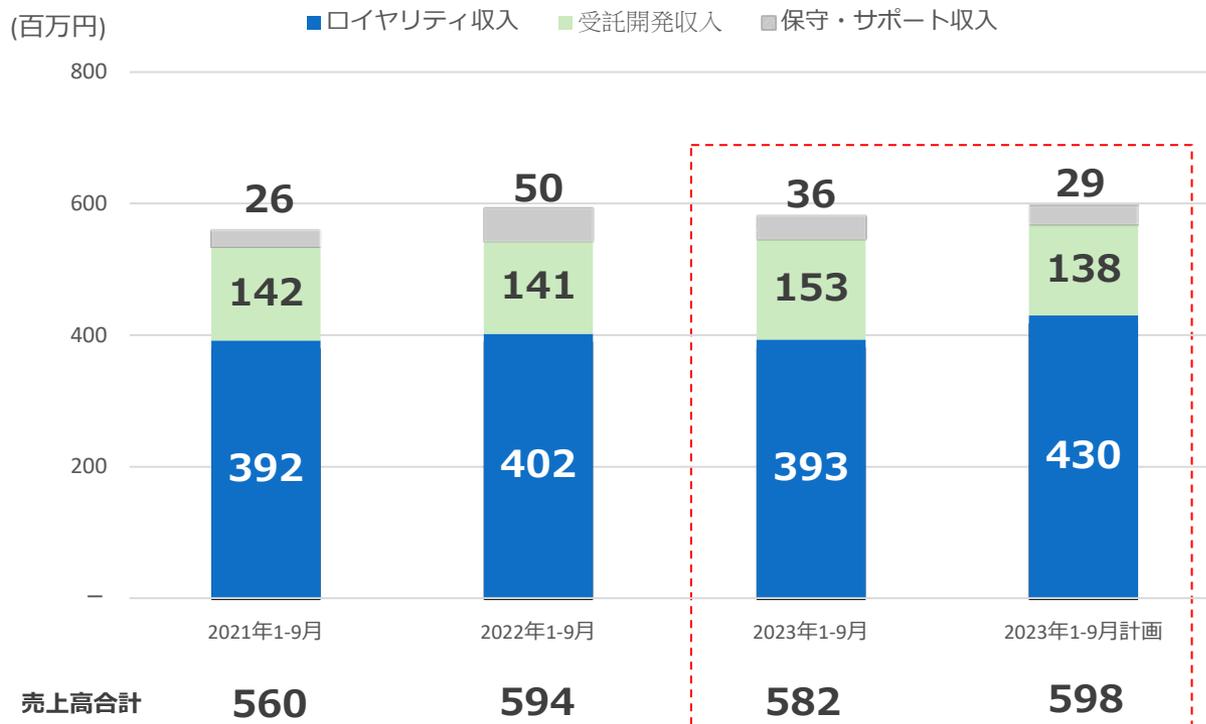
連結決算概要 (BS)

単位：百万円

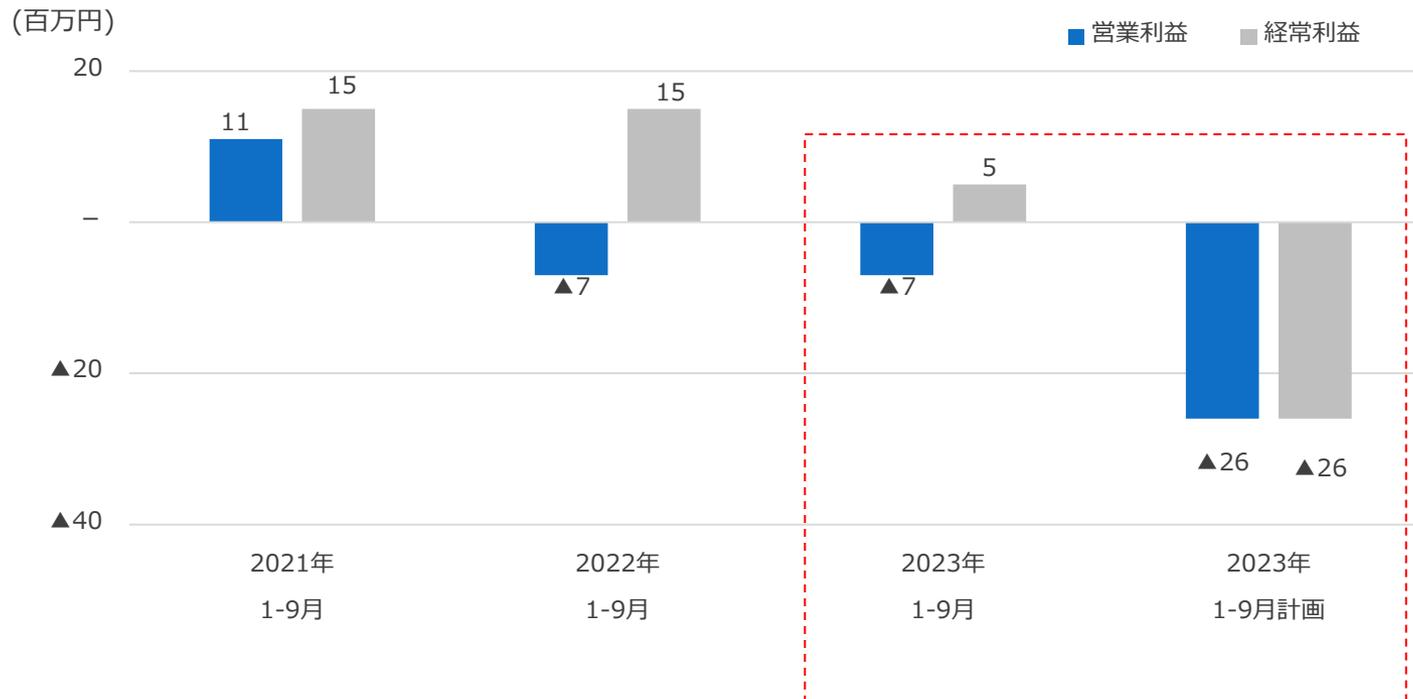
資産	2021年 12月	2022年 12月	2023年 9月	前期末比
現金及び預金	570	889	808	▲80
売掛金	45	181	163	▲18
仕掛品	30	12	5	▲7
原材料及び貯蔵品	520	235	199	▲36
その他	21	26	16	▲9
流動資産合計	1,189	1,346	1,193	▲153
有形固定資産	15	14	12	▲2
ソフトウェア	5	3	2	▲1
のれん	1	—	—	—
その他	1	1	1	0
無形固定資産合計	8	4	4	▲0
投資その他資産	36	28	29	1
固定資産合計	60	48	46	▲2
資産合計	1,250	1,394	1,239	▲155

負債・純資産	2021年 12月	2022年 12月	2023年 9月	前期末比
買掛金	12	20	13	▲6
未払法人税等	3	14	6	▲8
賞与引当金	2	2	11	8
工事損失引当金	1	—	—	—
その他	88	122	119	▲2
流動負債合計	106	159	150	▲9
固定負債合計	9	13	10	▲2
負債合計	116	173	161	▲11
資本金・資本剰余金	1,165	1,347	1,341	▲6
利益剰余金	145	23	▲129	▲153
自己株式	▲194	▲176	▲166	9
その他	16	25	32	6
純資産合計	1,133	1,221	1,077	▲143
負債・純資産合計	1,250	1,394	1,239	▲155

- 資産：原材料及び貯蔵品は使用に応じて▲36百万円減少しています。
- 純資産：自己資本の水準について、当四半期末において自己資本比率は87%であり、引き続き、財務の健全性は維持しております。



- ロイヤリティ収入：前年同期比では微減となり、計画比では出荷数が計画を下回った顧客製品があり減収となりました。
- 開発収入：セキュリティ&プライバシー事業での受託開発案件により、前年同期比および計画比ともに増収となりました。
- 保守・サポート収入：保守対象の減少により、前年同期比では減収となりました。



■ 営業利益・経常利益

営業利益：前年同期比では減益幅が同水準となりましたが、計画比では計画を上回りました。

経常利益：前年同期比では減益幅が大きくなりましたが、計画比では計画を上回りました。

期初予想の見直し

単位:百万円

	期初予想 (2/14公表)	修正予想 (9/11公表)	差異
売上高	845	845	0
営業利益	25	25	0
経常利益	25	25	0
親会社株主に帰属する当期純利益	10	▲ 140	▲ 150

■ 業績予想修正の理由

当社は、和解金の支払いに伴い特別損失の計上をすることにより、2023年12月期通期連結業績予想を修正する事になりました。

詳細につきましては、2023年9月11日に公表いたしました「和解金の支払いに伴う特別損失の計上、業績修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2023年12月期
第3四半期
事業ハイライト

パソコン・デジタル家電向け組込みソフトウェア事業

- 第3四半期(1-9月)での売上高は、389百万円。（前年同期比：▲37百万円）
- 衛星放送事業者が発売するサービスチューナーボックス(8月末発売)向けにホームネットワークによる宅内視聴機能を実現するソフトウェア(DTCP-IP対応プレイヤー・サーバーSDK)を提供開始。
- 組込みブラウザ「Tourbillon」が2,700万ライセンスに到達。

建設DXサービス事業

- 第3四半期(1-9月)での売上高は、40百万円。（前年同期比：▲4百万円）
- KPI（重要目標達成指数）

	当期末目標	当四半期末実績	前期末実績
累計採用企業数(社)	10社超	10	8
累計採用トンネル数(本)	60	40	32

- 「切羽AI評価サービス」が、（株）森本組と清水建設（株）のトンネル工事現場で使用開始。
- 累積採用トンネル数は前期末実績から8本増えて40本に到達。
- MODE Inc.社のAIパートナープログラムに参加。MODE Inc.のプラットフォームで収集されたセンサーデータを活用したAIソリューションを共同で提案。
- LiDAR(Light Detection And ranging)機材を使用し点群データを収集、点群データから生成される3Dデータを活用した「LiDAR応用システム」を発表。安価で柔軟なシステム運用を建設現場に提供。

セキュリティ・プライバシー事業

- 第3四半期(1-9月)での売上高は、146百万円。（前年同期比：+24百万円）
- クラウド型スマートフォンバックアップサービス「sMedio Cloud Backup」の採用企業顧客2社となり、取扱店舗数が300店舗を超える。初年度1年間の累計サブスクリプション（定期購読）契約者数は、目標10,000名に対し17,000名に到達。（2023年10月末時点） 年内に20,000名を超える見通し。

IoTソリューション事業

- 第3四半期(1-9月)での売上高は、5百万円。（前年同期比：+5百万円）
- 戸田建設（株）と、施工中の山岳トンネル建設現場において、環境測定、クラウドによる一元管理、iOSアプリで可視化するシステムを共同開発、実証運用を開始。Kiwi Technology, Inc.のLoRaWAN対応ゲートウェイとセンサーを活用。

- 本資料は、2023年11月14日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社（連結子会社を含む）の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込み、または予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望には、様々なリスクや不確実性が内在しています。既知、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと保証することはできず、実際の結果が将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料中の数値は、単位未満切捨てで表示しており、その影響で表中の合計と一致していない場合があります。

